

日中対照言語学会会報 (No.53)

2020年10月28日(水)発行 会報担当：加藤晴子 続三義

目次

一、2020年度理事会拡大会議(2020年10月17日)

※事務局より

一、2020年度 理事会拡大会議議事録

日 時：2020年10月17日(日) 15:00～16:00

場 所：オンライン会議

出席者

加藤晴子 続三義 王学群 竹島毅 安本真弓 須田義治 時衛国 下地早智子 丸尾誠
平山邦彦 橋本幸枝 白石裕一(計12名)

議 題：

【審議事項】

1. 第44回大会(2020年度冬季大会)のプログラム

協議の結果、12月20日(日)にZoomにより開催することとした。

9月30日締め切りの発表希望者が4名に留まっているので、11月15日まで延長する。日程、開催方式と合わせ、締め切り延長を会員向け一斉メールで告知する。また、中止となった春季大会の発表予定者を、優先する旨も明記する。

2. これからの月例会の開催方法

続副会長より、今後の月例会をオンライン方式で開催することが提案されたが、継続審議となった。

【報告事項】

1. 学会誌『日中言語対照研究論集』第23号と特集号『副詞』の原稿募集の進捗状況

王学群事務局長より、学会誌『日中言語対照研究論集』第23号については、19本の投稿があり、投稿資格を確認後、于康査読委員長に回す段階であること、また、特集号『副詞』については、すでに白帝社に入稿済みであることが報告された。

2. 会費納入の現状

白石会計係より、以下の通り報告された。

2020年10月15日時点の会員数：275名(2020年4月1日時点の254名より21名増)

(新入会員の内訳：社会人=5名、大学院生=16名)

2020年10月15日時点の会費納入済み会員数：157名

3. 学会誌送付の現状

白石会計係より、以下の通り報告された。

・2020年度分（第22号）：186冊（10月16日の時点）

会費納入済み会員157名および以下を含む。

論文投稿者：16冊 北京外国語大学：1冊 国立国語研究所：1冊

顧問・名誉会員：6冊

会費を支払う見込みのある中国在住の会員：5冊

・2019年度分：3冊

4. その他

学会ホームページ上の月例会の告知がされないことがあるので、今後担当者間の連絡を密にすることを確認した。

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会 HP 上で随時受け付けています。申込ができない場合は王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡ください。年間会費は社会人4,000円、院生2,000円となっています。
- 2) 会報は、今後は郵送いたしません。会員メーリングリストにて送付するとともに、学会 HP 上に掲載いたします。
- 3) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させていただいております。アドレスが不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、アドレスの変更につきましても、同様をお願い申し上げます。
- 4) 年間会費の納入について
今年度は春大会の開催が中止となりましたので、事務局より振込用紙の送付をいたしました。ご納入のほどよろしく願いいたします。
- 5) 月例会発表者の募集について
発表希望者は毎月末までに、翌月発表したいテーマと要旨（500字前後）を王学群（ohgakubun@toyo.jp）までお申し込みください。当面は Zoom での開催ですが、状況が変われば、会員メーリングリストにて改めて通知することといたします。
- 6) 2020年度冬季大会は12月20日（日）に、オンライン方式で開催されることになりました。発表者を追加募集することになりましたので、希望者は2020年11月15日（日）までに、発表要旨500字前後を添え、王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）までご連絡ください。

